

令和6年度(2024年度) 生産性向上推進体制加算に関する アンケート調査報告書

令和7年3月発行

静岡県老人福祉施設協議会
企画経営委員会

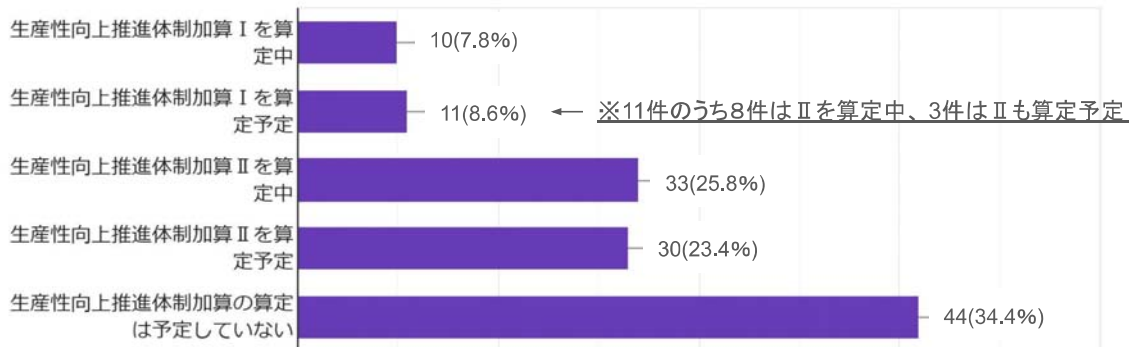
まえがき

- 調査目的** 県内介護施設における生産性向上の推進等に資するため、生産性向上推進体制加算の算定率に加え、実際に使用されているテクノロジーやICT機器、介護記録ソフト等についての評価を集約するために調査を実施する
- 調査概要**
 - 方法** 静岡県老人福祉施設協議会事務局より、全ての会員施設に GoogleフォームのURLをメールで送信し、回答いただいた
 - 調査期間** 令和6年11月29日から令和6年12月27日
 - 調査担当** 静岡県老人福祉施設協議会 企画経営委員会
- 回答状況**
 - 対象施設: 303施設 (特養215施設、軽費47施設、養護19施設、短期入所1施設、単独デイ21施設)
 - 回答施設: 145施設 (特養115施設、軽費17施設、養護8施設、単独デイ5施設)
 - 回答率: 47.9%
- 注意事項**
 - 本調査終了後に開催されました企画経営委員会において、皆様からいただきました ICT機器等に関する評価コメントについて、ネガティブな意見も多く含まれていることから、メーカー側からすれば営業妨害にあたる危険性もあるのではないかとご指摘をいただきました。その点について委員会内にて協議を重ねた結果、本調査報告書においては導入施設数のみを公開させていただき、希望される施設様にのみ個別に評価コメント資料を提供させていただくこととなりました。
 - 皆様から多くの貴重なご意見をいただきました後に、このような対応をとらせていただくこととなり大変申し訳ございませんが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

I 生産性向上推進体制加算について伺います

生産性向上推進体制加算の算定状況について伺います。該当する項目をチェックしてください(複数回答可)

145 件の回答 ※このうちデイサービス 4施設、軽費 8施設、養護 5施設は加算対象外 (分母は 128施設)



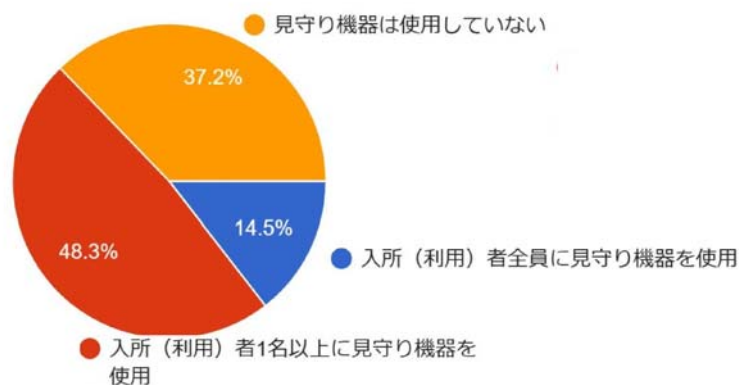
○加算 I の算定件数10件、加算 II の算定件数41件、合計51件であり、加算 I 及び II の算定率は39.8%に留まっている。また、加算 I を算定中または算定予定を併せても16.4%であることから、上位加算の算定は難しいことが伺える。

○施設種別ごとの加算算定率は、特養45/115施設(39.1%)、軽費6/9施設(66.7%)、養護0/3施設(0%)であった。

II 生産性向上推進体制加算の算定要件である見守り機器等のテクノロジーの導入状況について伺います

①見守り機器の導入状況についてお答えください

145 件の回答



○加算 II の要件である見守り機器の導入率自体は62.8%と低くないが、加算 I 算定の要件である入所者全員への使用率は15%にも満たないことから、加算 I のハードルがとても高いことが伺える。

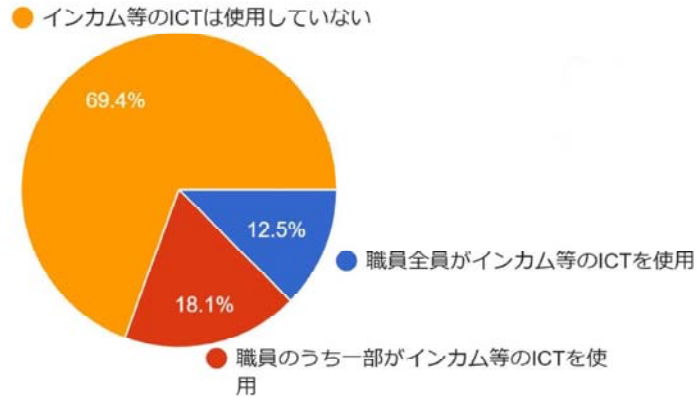
②導入機器について差支えない範囲でお答えください

製造業者	機器名	導入施設数
パラマウントベッド(株)	眠りSCAN・眠りSCANeye	32
	エスパシア等 離床センサー付 ベッド	8
(株)テクノスジャパン	コールマット・ベッドコール・サイドコール	13
(株)バイオシルバー	aams	6
	バイオネクスト	1
	バイオコールカイ	1
フランスベッド(株)	見守りケアシステムM1、M2他	5
コニカミノルタ	HitomeQケアサポート	3
モルテン	テルサコール 他	3
インフィック(株)	LASHIC	3
平和テクノシステム	Yuiコール(見守りカメラ・離床センサー)	1
(株)シンセイコーポレーション	介護用見守りセンサーCare-Top	1
メディカルプロジェクト	看取りセンサー	1
ミネベアミツミ	リコー ベッドセンサーシステム	1
ヒミカ	HIMVIT	1
トーテックアメニティ	見守りライフ	1
タケックス?	御守り形センサー	1

システムファイブ(株)	見守りカメラ すいすいケア	1
ケアコム	離床センサー	1
エクセルエンジニアリング	センサーコール	1
エイアイビューライフ株式会社	AIビュー	1
アイホン	ナースコール	1
GCOMM	ココヘルパ	1
	離床、座位、フロアセンサー	1
	不明	1
	ベランダ回りに設置の防犯カメラ	1
わからない	座コール	1
不明	床センサーマット	1
(株)ASK TRADING	CEPSA防犯カメラシステム	1
不明	ベッドコール・ケーブルタイプ	1
	ペイシエントウォッチャー	1
	センサーマット	1
	センサーベッド	1
	メロディーセンサー	1
	離床センサー	1

Ⅲ インカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器の導入について伺います

①インカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器の導入状況についてお答えください
144件の回答



○インカムの使用率は30.6%とかなり低く、加算Ⅰ算定の要件である職員全員の使用率は12.5%と見守り機器の導入率よりも更に低いことから、加算Ⅰの算定についてのハードルが相当に高いことが伺える。

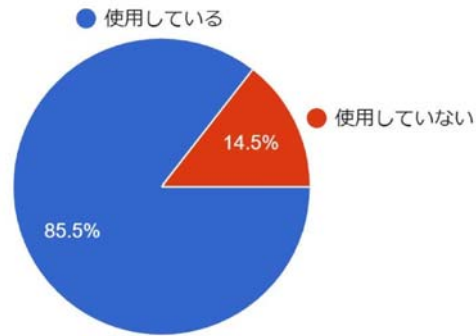
②導入機器について差支えない範囲でお答えください

製造業者	機器名	導入施設数
㈱ティービーアイ	クリアトークカム	8
㈱JVCケンウッド	TPZ-D553等UHFデジタル簡易無線電話装置	5
アルインコ㈱	DJ-PX31・DJ-PX7 等	4
アイコム	IP110H・IC4120 等	4
㈱BONX	BONX	3
ケアコネクジャパン	ハナスト(音声記録連動)	2
ウエッジ㈱	インカム型無線機	2
Microsoft	Teams	1
NDソフト	ほのぼのTALK++	1
エフアールシー	FC-ZX PRO	1
八重洲無線	パーテックススタンダード	1
不明	不明	1
わからない	トランシーバー	1
未記載	スマートフォン	1
未記載	未記載	1
未記載	未記載	1
未記載	未記載	1
未記載	未記載	1
未記載	iPhoneアプリ・SD-Phone	1
未記載	インカム	1
未記載	スマホ	1

IV 介護記録ソフトの使用について伺います

①介護記録ソフトについてお答えください

145 件の回答



○介護記録ソフトについては導入率85.5%であり高水準であることから、見守り機器等のテクノロジーの導入に対する基盤は、概ね整備されていると考えられる。

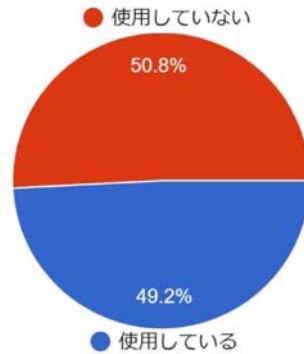
②介護記録ソフトについて差支えない範囲でお答えください

製造業者	機器名	導入施設数
(株)ケアコネクトジャパン	ケアカルテ	48
NDソフトウェア(株)	ほのぼの・ほのぼのNEXT	41
(株)ワイズマン	ワイズマン・介護老人福祉施設管理システムSP	9
	すぐろくタブレット	3
(株)ブルーオーシャンシステム	ブルーオーシャンノート2	6
FUJITSU	WINCARE	5
(株)東経システム	福祉見聞録	4
くすりの窓口	コメットケア	1
(株)テクトロン	モバイタルくん	1
(株)介護サプリ	介護ケア記録アプリ	1
(株)グッドツリー	ケア樹	1
日立	福祉の森	1
フリーソフト使用	フリーソフト使用	1

V スマートフォン等の介護記録の効率化に資するICTの使用について伺います

①スマートフォン等の介護記録の効率化に資するICTについてお答えください

124件の回答



○介護記録の効率化に資するICTについては機器等の回答と、アプリケーション等の回答が混在しているが、機器については大多数がiPadもしくはiPhoneであった。アプリケーションについては導入済みの介護記録ソフトの入力用アプリが殆どであった。

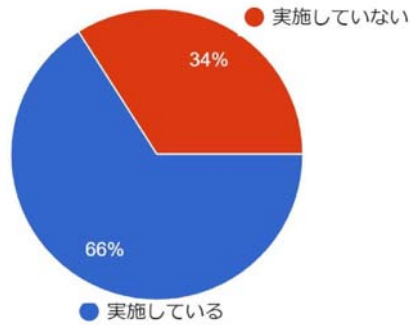
②スマートフォン等の介護記録の効率化に資するICTについて、差支えない範囲でお答えください

製造業者	ICT機器名	導入施設数
Apple	iPad	31
	iPhone	5
KDDI	スマートフォン	1
arrows	タブレット型ノートパソコン	1
(株)NEC	Tablet	1
富士通	モバイルくん	1
	PC	1
製造業者	アプリケーション名称	導入施設数
NDソフトウェア(株)	ケアバレット	7
(株)ケアコネクトジャパン	ケアカルテ	6
(株)ヒミカ	HIMVIT	3
(株)ワイズマン	すぐろくタブレット	3
(株)ブルーオーシャンシステム	ブルーオーシャンタブレット	2

VI 職員間の適切な役割分担(いわゆる介護助手の活用等)の取組等について伺います

①職員間の適切な役割分担についてお答えください

144 件の回答



○職員間の適切な役割分担の取り組みについては、介護助手の活用等を行っている施設が多く見られ、役割のなかでも洗濯やベッドメイク、洗濯物の管理が上位を占めた。

② 職員間の適切な役割分担について、差支えない範囲でお答えください

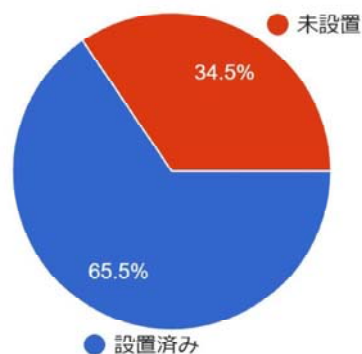
適切な役割分担の実施内容		施設数
介護助手等による 役割分担	ケアサポーター、介護補助、介護助手、家事援助、アテンダントの採用 ※業務内容未記載の施設が多数あり	67
	清掃業務	38
	ベッドメイク、リネン交換	29
	洗濯物の管理	16
	食事準備、片付け	10
	入浴衣類の準備	2
	ショートステイの荷物確認	2
	見守り	2
	食事介助	2
	メンテナンス、環境整備	2
	加湿器管理	1
	ゴミ捨て	1
	ショートステイ送迎	1
	お茶の準備	1
	車いす移動補助	1

介護職員等による 役割分担	職員の能力を考慮して業務の困難度に応じた職務を割り当て
	実務と(非常勤職員)契約書と照らし合わせて分担する
	専門職別の役割分担。介護業務においても、直接介助を行う資格者と、周辺業務を行う無資格者で役割分担を行っている。
	直接業務と間接業務の切り分け
	適材適所で配置している
	職種に応じた役割分担と役職に応じた役割分担
	業務分掌表作成し活用 人事考課制度に反映
	業務分掌を作成しタスクシフトを実施
	毎年度掌握表を作成し周知
	リーダー、サブリーダー、各委員、業務内容等役割分担が決まっている。
	勤務当番ごとに役割分担をしている
	入浴・食事介助専門の職員配置
	入浴専属職員の配置
	各種委員会・係等
	マニュアル化して分担している
	生産性向上委員会の取り組みの細分化
	各担当委員会のメンバーを決め、利用者も担当を決めている。日常業務も業務ごと、日ごとに業務担当を決めている
	入所時より業務や役割を決めている
	入居者に関わることは全職員が対応、情報共有し、栄養士、介護職員など専門的な業務は各職員分担して行っている
	直接業務と間接業務の分担
介護職員の業務役割を分担	

VII 利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会について伺います

①利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会の設置状況について伺います

145件の回答

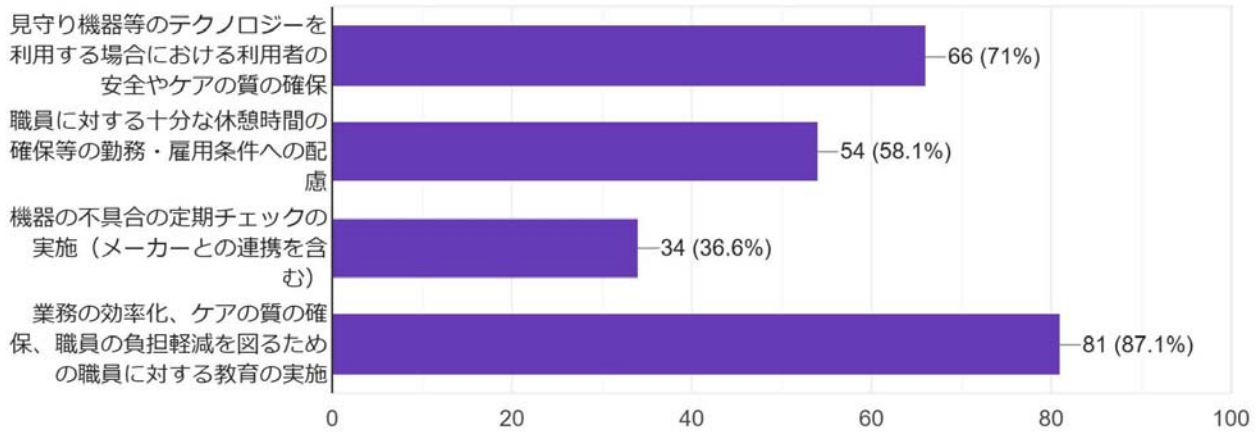


○委員会の設置については、3年間の経過措置期間1年目としては高い設置率となっているが、加算算定の為に必要な検討事項の実施率はあまり高くない。特に「機器の不具合の定期チェックの実施」の項目が最も低く、加算算定率と近い実施率であることから、加算取得のボトルネックとなっている可能性もある。

②設置された委員会についてお伺いします

設置された委員会における、以下の項目についての必要な検討と実施の状況について、検討と実施が行われている項目を✓してください

93件の回答



VIII 介護生産性向上総合相談センター(仮称)について伺います

静岡県主導のもと、生産性向上に資する様々な支援・施策を総合的・横断的に一括して取り扱い、適切な支援につなぐワンストップ窓口「介護生産性向上総合相談センター(仮称)」が、令和7年度中に設置される予定となっています。設置後の相談センターに期待する支援内容をご記入ください。86件の回答

分類	ご意見等
情報提供	これをやったら良かったとか、良くないとか、こういうアンケートがとてども難いと思う
情報提供	制度に関する詳細な情報提供
情報提供	定期的な情報発信をお願いしたい
情報提供	ICT機器の活用方法等の情報提供。
情報提供	情報提供
情報提供	まずは支援内容の具体的な案内をお願いしたい。
情報提供	定期的な情報提供
情報提供	具体的な取り組み事例の紹介や研修、業務改善のアドバイス
情報提供	効果的な取り組みの情報提供
情報提供	各施設が実施している取組等の情報提供
情報提供	他施設の事例をまとめ、随時情報を共有できるようになると良いと思います。
情報提供	他事業者の活用状況を共有したい
情報提供	先進的な事例紹介
情報提供	他の施設の良い実践内容を知りたい
情報提供	機器導入紹介、事例紹介等
情報提供	他施設での取り組みや相談内容などを開示していただけると、自施設でも取り組みやすいのでお願いしたいです。
情報提供	施設内での生産性向上に係る具体的施策、プロジェクトの導入、活用支援
情報提供	各施設で取り組んでいる好事例を水平展開してもらいたい

助言	ICTなどとても詳しい職員を置いてほしい
助言	色々な困りごとを助けてほしい
助言	厚労省の示している生産性向上のための様々なツールの活用促進支援。
助言	設備導入から一定の効果までの情報や手段、費用に関するトータルの支援
助言	まだこれからの動き出しなので宜しくお願いします。
助言	拠点ごとの事情に応じた、できることの提案
助言	ICT等の普及。
助言	ワンストップで適切な回答及び対応策を支援してくれる体制を期待します
助言	ICT化をどのように進めたらよいかの具体的助言
助言	迅速な対応、相談窓口の増設
助言	機器の導入や運用も必要性はあるが、利用者一人一人異なる身体状況やニーズの違いに合わせていくための柔軟さや、選択肢などが具体的に示される事でより分かりやすくなっていくと思います。
助言	職員数の減少を止めたい
助言	まだわからないことが多いので、相談するときは柔軟に受け止めて指導いただきたい。
助言	個別相談支援を実施していただきたい。
助言	生産性向上に資する問題や疑問にタイムリーに対応・返答を頂ければありがたいです。
助言	詳細をお聞きしたい
助言	AI導入のための専門家をお願いしたい。
助言	生産性向上のための具体的なツールと手法の提供。事業所間の情報共有・連携の促進。継続的なフォローアップと評価
助言	今後も生産性向上に関する話題は推進されると思う為、必要時にアドバイスが貰えると良い
助言	電話サポート等
助言	情報提供 必要書類のフォーマット化及び使用許可 実地指導時のチェックポイント指導
助言	相談窓口としての機能、業務の効率化も必要ですが、職員主導ではなく利用者の生活も考えた上での生産性向上を目指してほしいので、そのための助言ができる相談窓口としての役割を期待します。

助言	ICTなどとても詳しい職員を置いてほしい
助言	色々な困りごとを助けてほしい
助言	厚労省の示している生産性向上のための様々なツールの活用促進支援。
助言	設備導入から一定の効果までの情報や手段、費用に関するトータルの支援
助言	まだこれからの動き出しなので宜しくお願いします。
助言	拠点ごとの事情に応じた、できることの提案
助言	ICT等の普及。
助言	ワンストップで適切な回答及び対応策を支援してくれる体制を期待します
助言	ICT化をどのように進めたらよいかの具体的助言
助言	迅速な対応、相談窓口の増設
助言	機器の導入や運用も必要性はあるが、利用者一人一人異なる身体状況やニーズの違いに合わせていくための柔軟さや、選択肢などが具体的に示される事でより分かりやすく なっていくと思います。
助言	職員数の減少を止めたい
助言	まだわからないことが多いので、相談するときは柔軟に受け止めて指導いただきたい。
助言	個別相談支援を実施していただきたい。
助言	生産性向上に資する問題や疑問にタイムリーに対応・返答を頂ければありがたいです。
助言	詳細をお聞きしたい
助言	AI導入のための専門家をお願いしたい。
助言	生産性向上のための具体的なツールと手法の提供。事業所間の情報共有・連携の促進。継続的なフォローアップと評価
助言	今後も生産性向上に関する話題は推進されると思う為、必要時にアドバイスが貰えると良い
助言	電話サポート等
助言	情報提供 必要書類のフォーマット化及び使用許可 実地指導時のチェックポイント指導
助言	相談窓口としての機能、業務の効率化も必要ですが、職員主導ではなく利用者の生活も考えた上での生産性向上を目指してほしいので、そのための助言ができる相談窓口としての役割を期待します。

補助金	補助金事業、情報提供
補助金	補助金が使用できなくても、安価で導入できる支援
補助金	補助金
補助金	他施設の取り組みや ICTの取り入れ、補助金制度等の詳細な説明等
補助金	ICT機器の運動等コーディネート。導入時の補助金案内及び支援。好事例の発信や県内事業所の使用機器の把握(施設見学の紹介)
補助金	価格相場の公表及び補助金申請の案内・補助
補助金	導入に対する費用援助の相談を強化
補助金	介護保険対象施設でない養護老人ホームの生産性向上に向けた相談対応
補助金	現在何も行っていない状態です。効果や補助金の内容など、知りたい。

IX その他

介護施設におけるDX化等について、調査研究を期待する内容がございましたらご記入ください。 49 件の回答

分類	ご意見等
事例	情報提供
事例	利用者還元、職員還元
事例	施設での成功例を提示していただきたい
事例	先進事例と失敗事例
事例	DX導入時における職員への説明や導入定着に至るまでの成功例や失敗例についてアンケート形式で調査研究を期待します。
事例	県内の同種施設のDX化への動向や具体的な手段を知ることができる
事例	DX化事例の紹介と導入による報酬増につながることを期待します
事例	ICT使用状況や活用状況における研究等
事例	様々な取り組みをさんこうにしたい
事例	高齢職員が新しいシステムに対応できるかが、不安です
事例	活用方法をメーカーからではなく実際に使用している施設から聞きたいです
事例	人材不足の中での職員の負担軽減がどこまで可能か？ご入居者への介護の質の向上はできているのか
事例	DX化が進んでいる施設限定で導入前後の経費の変化
事例	業種ごと、規模の大小により DX化の内容や取り組みが変わるので、個別に対応できるようにしてほしい
事例	業務負担の軽減と人材不足・確保に対応できる DX化のアドバイスを頂けると幸いです。
事例	他施設の現状等、詳細の情報の発信に期待したい
事例	そもそも介護施設でDXをどう進めていけばいいのかわからないので、色々調査してもらい、教えてもらいたい
事例	DX化のメリット、デメリットについて
事例	記録や介護保険上加算に必要なデータの入力などの業務量の削減に役に立つようなもの

機器選定	現時点においては、①多数ある機器情報 ②機器等の効果的な活用方法 ③委員会の取組み
機器選定	企業の画期的な機器の開発に参画してすべての施設が導入するメリットを感じることができる機器ができればと思います。
機器選定	様々な機器の情報だけでなく、デモや展示会など肌で感じられる機会を提供していただきたいです
業務改善	ペーパーレス化
業務改善	ノーフットケアやロボット介護による介護職員の業務負担軽減につながる施策
業務改善	職員の業務負担軽減に繋がればと思います。
補助金	PCなどのICTは目まぐるしく機能UPするためDX化を進めるなら補助金など打ち切らないで欲しい
補助金	着手法人の費用
補助金	補助金申請の簡素化 など
補助金	実際の現場状況や調査結果から、DX化等の推進(導入の補助に関することなど)へ繋がってほしい。

あとがき

今回のアンケート結果につきまして、企画経営委員会において内容を分析させていただき、委員会としての意見を以下の通りまとめさせていただきます。

- ・加算の算定率は4割弱であり、特に加算Ⅰについては7.8%しか算定できていないことから、ICT機器の導入や生産性向上の取組についての進捗状況は、遅れていると考えられる。
- ・加算算定を予定していない施設が1/3を占めている状況に対して、今後の委員会活動として、比較的要件の軽い加算Ⅱの算定を目指していただけるよう情報発信を続けていく。

少子高齢化は益々進み、労働人口は減少の一途を辿るなか、円安などによる海外との賃金格差により外国人人材の確保も難しくなっています。そのようななか、人材確保が困難な地域においては、既に2:1程度の人員配置を諦め、生産性向上の様々な取り組みによって2.5~2.8:1程度の人員による運営が可能な体制を目指しているという話も聞かれています。

介護現場の生産性を高めるための道筋には多くの選択肢があり、そのうちいくつかの道筋を同時並行的に進めていく必要があると考えられますが、その多くの道筋のなかでも生産性向上推進体制加算の要件そのものが、国の考える本筋であります。

介護業界のみならず、国内の全ての産業に大きな影響を及ぼす「労働人口減少」に対応していくために、企画経営委員会としては、今から出来ることを着実に実行していく必要があると考えています。

※本調査においては、現在使用されているテクノロジーや機器等の評価について、会員施設の皆様から多くの貴重なご意見をいただきましたが、まえがきにも記載させていただきました通り、全文公開することを差し控えさせていただきました。しかしながら、その内容は今後ICT機器等の導入を検討している会員施設にとって有益な情報であると考えられますので、希望される施設様には個別で情報を提供させていただきます。別紙「情報提供依頼書兼同意書」の内容をご確認のうえ、ご署名をいただき3月31日までにFAXにてお申し込みください。